

未来へつながる有機農業を目指して

# 甘楽町有機農業推進の取組

令和7年10月31日  
群馬県甘楽町長 森平 仁志





## 甘楽町の概要

### 群馬県甘楽町

面積	58.61km <sup>2</sup>
人口	12,373人
世帯	5,259世帯
平均気温	13～14℃
平均降水量	1,200～1,400mm
耕地面積	891ha
販売農家数	約270戸
農業の特徴	米、麦、こんにゃく、畜産、野菜、花卉、果樹、きのこ類などを生産



## 甘楽町の紹介②

3

### 有機農業のあゆみ

昭和61(1985)年

甘楽町有機農業研究会設立

昭和63(1987)年

甘楽町有機農産物オーナー便制度開始

平成8(1996)年～令和2(2020)年

野菜のリサイクル事業実施

平成12(2000)年

甘楽ふるさと農園開園

平成13(2001)年

農業者が有機JAS認証取得開始



# 甘楽町有機農業推進の取組／オーガニックビレッジ宣言

4

令和5年(2023年)

6月～ みどりの食料システム戦略推進緊急対策交付金を活用し、  
有機農業推進の取組を開始

10月 「有機農業実施計画」を策定

10月20日 オーガニックビレッジ宣言



 甘 楽 町  
KANRA TOWN



甘楽町は、自然に囲まれた歴史と文化が息づく風光明媚な町で、温暖な気候風土を生かして、長年にわたり多彩な農業が営まれてきました。

1980年代から始まった有機農業の取組は、甘楽町有機農業研究会や甘楽ふるさと農園が中心となり、安全・安心で環境に配慮した農業を実践し、今日までの町の農業振興に大きな役割を果たしてきました。

「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、有機農業の生産から消費までを地域ぐるみで取り組み、町の「農」と「食」を未来へつないでいきます。

「身土不二」の精神を大切にし、学校給食での有機農産物の活用など、未来を担う子どもたちへの食育をはじめ、日々の暮らしに溶け込む有機農業を推進し、次代へ継承していくことを決意し、ここに「オーガニックビレッジ宣言」をいたします。

令和5年10月20日

甘楽町長 茂原莊一



未来へつなぐ有機農業プラン



5年後の目標(令和10年)

有機農業者 **20** 名 **+4** 名

耕地面積 **20** ha **+1.2** ha

学校給食での活用 **4** t **+2** t

## 生産品目

～甘楽町内で栽培されている主な有機農産物～



# 甘楽町有機農業推進の取組／5年後の目標に向けた取組内容

## 1 有機農業の生産段階の推進の取組

### (1)有機農業の担い手の確保・育成

- ①有機農業新規就農者の確保と育成
- ②農作業の省力化(機械・設備の導入)の実証
- ③甘楽町有機農業サポーターの導入

### (2)有機農業の生産基盤の整備・継承

- ④有機農業の農地の管理体制の構築
- ⑤有機資源の土づくりの推進

### (3)新たな有機農業への挑戦

- ⑥新たな品目の有機栽培の実証
- ⑦有機農産物の給食利用拡大に向けた実証圃場の設置

## 2 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組

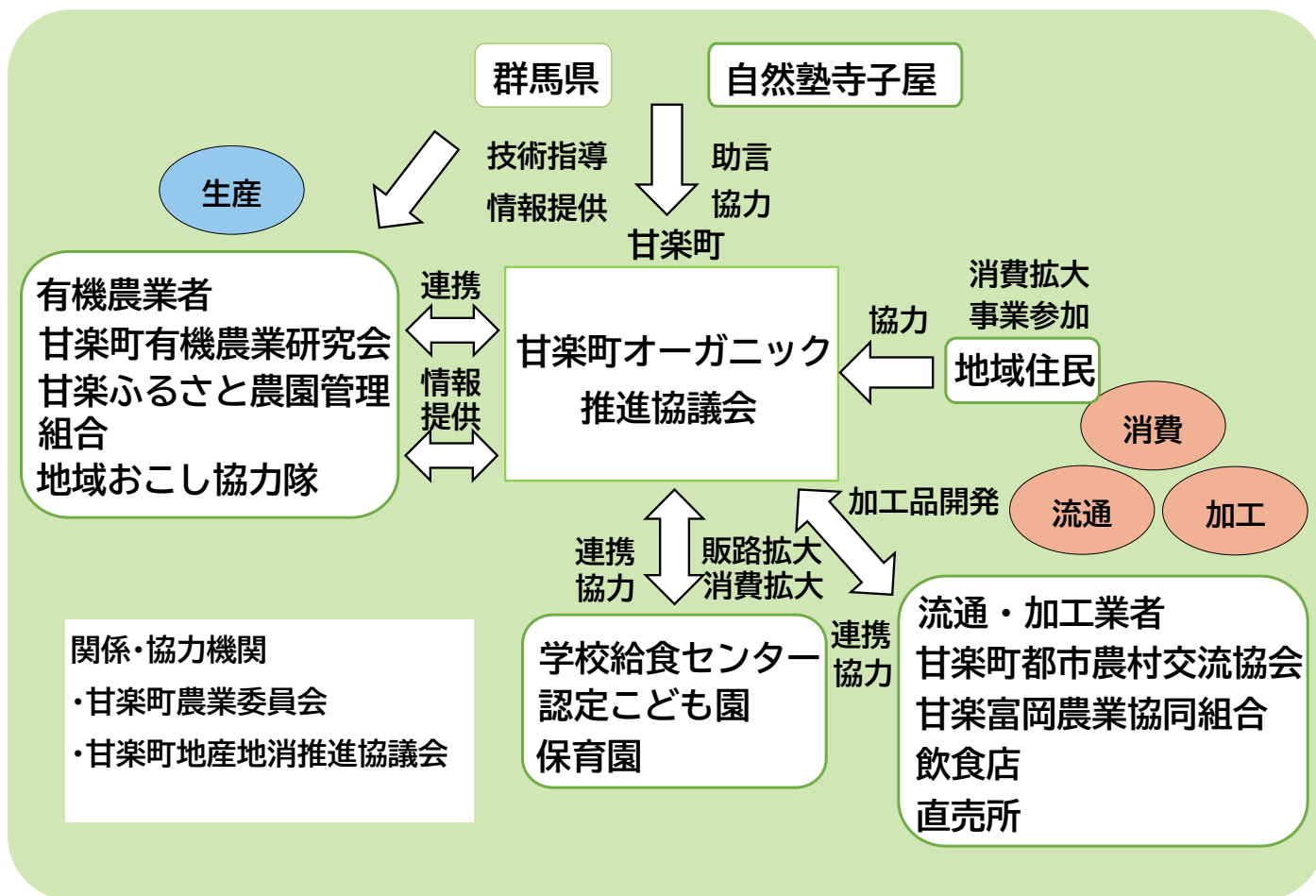
### (1)有機農産物の販売先の充実

- ①新規販路開拓
- ②飲食店・直売所等での有機農産物の活用
- ③有機農産物オーナー便の利用促進
- ④有機農産物の加工品への活用

### (2)有機農産物の消費者理解の醸成

- ⑤学校給食等での有機農産物の活用
- ⑥ふるさと納税・イベント等での活用
- ⑦消費拡大に向けた啓発と情報発信

## 実施体制図



### 【甘楽町オーガニック推進協議会】

#### 構成員

- ・ 甘楽町
- ・ 甘楽町議会
- ・ 甘楽町有機農業研究会
- ・ 甘楽ふるさと農園管理組合
- ・ 甘楽町農業委員会
- ・ (一財)甘楽町都市農村交流協会
- ・ 甘楽富岡農業協同組合
- ・ 甘楽町学校給食センター

#### 部会

- ・ 生産部会
- ・ 流通、加工部会
- ・ 消費者部会

#### 事務局

- ・ 甘楽町産業課農林係

## 生産の取組

### 有機農業新規就農者の確保と育成

- ・ 甘楽ふるさと農園での農業体験、栽培講習会等
- ・ 地域おこし協力隊の就農に向けた研修等
- ・ 有機JAS認証取得支援



甘楽ふるさと農園管理組合による栽培講習会



専門家を招いた栽培講習会



## 生産の取組

### 農作業の省力化（機械・設備の導入）の実証

- ・ 水田除草機、ラジコン草刈機等の導入



乗用水田除草機



ラジコン草刈機



## 生産の取組

### 甘楽町有機農業サポーターの導入

- ・ 地域おこし協力隊、部会、有志による活動



学生・地域おこし協力隊による収穫イベント



## 生産の取組

### 新たな品目の有機栽培の実証

- ・ 学校給食用米の有機栽培



水稻栽培の実証圃場



学校給食用食材栽培の看板の設置



## 生産の取組

### 新たな品目の有機栽培の実証

- ・ オリーブの有機栽培



オリーブ（葉）の栽培



オリーブ（実）の栽培



## 流通・加工・消費の取組

### 飲食店・直売所等での活用

- ・オーガニックコーナーの設置

### 有機農産物オーナー便の利用促進

- ・都市圏に向けた情報発信



道の駅甘楽オーガニックコーナー



有機農産物オーナー便(個人宅配)

## 流通・加工・消費の取組

### 有機農産物の加工品への活用

#### ・オリーブ葉の商品化



オリーブ緑茶・抹茶



和菓子



洋菓子



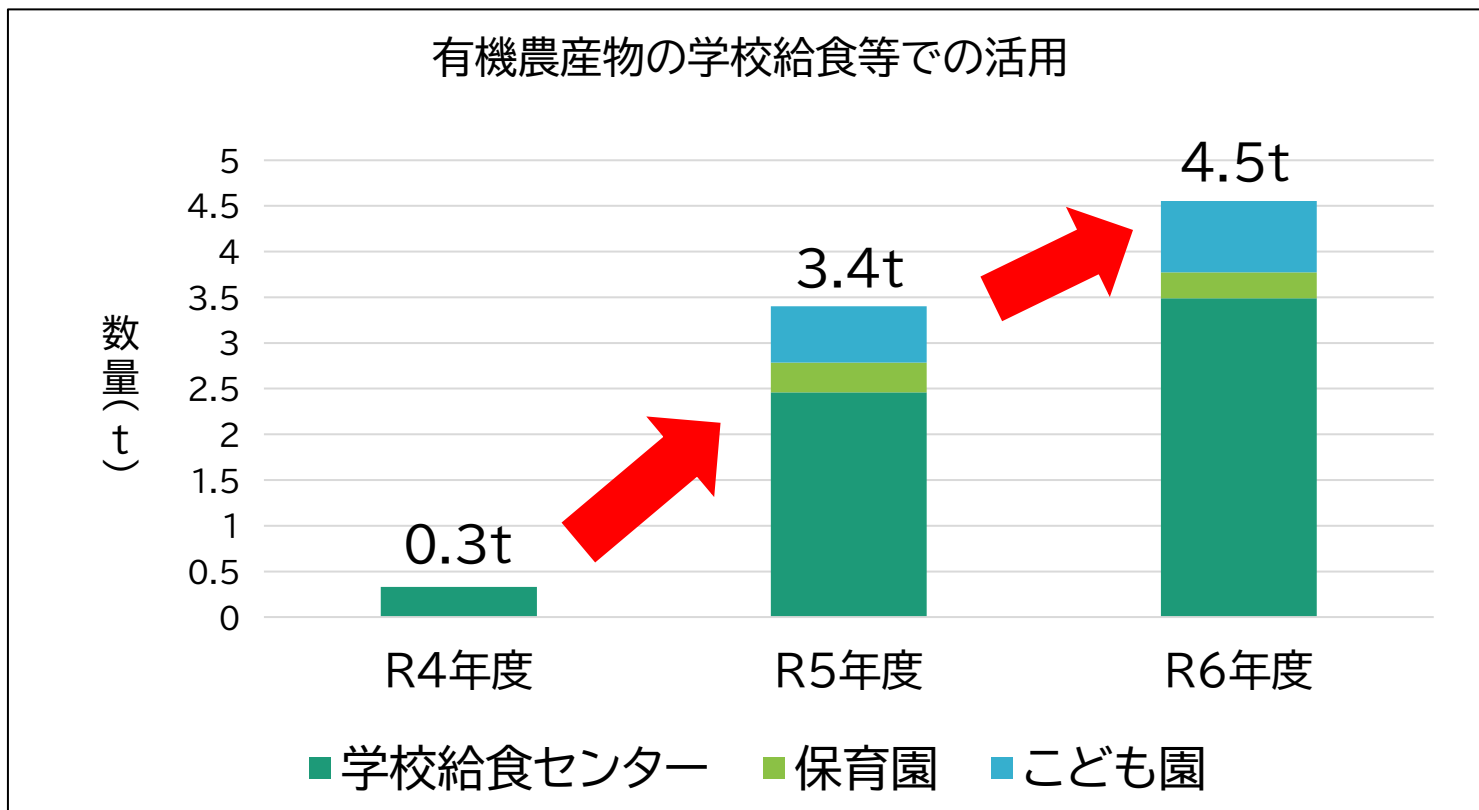
ビール



## 流通・加工・消費の取組

### 学校給食等での有機農産物の活用

使用量：R 4 年度 329kg ⇒ R 5 年度 3,404.3kg ⇒ R 6 年度 4,552.7kg



## 流通・加工・消費の取組

### 学校給食等での有機農産物の活用

- ・ 令和6年度：31品目、使用回数98回（学校給食センター）
- ・ 生産者の学校訪問（町内小中学校4校）



有機農産物（米、人参、大根、ほうれん草）  
を使用した給食



有機農業者の学校訪問



## 流通・加工・消費の取組

### ふるさと納税・イベント等での活用

- ・ 有機野菜を使った料理教室
- ・ 有機栽培農産物の収穫体験
- ・ イベント等への出店・活用
- ・ ふるさと納税の返礼品の登録



有機栽培じゃがいもの収穫体験



イベントでの販売

## 流通・加工・消費の取組

### 消費拡大に向けた啓発と情報発信

- ・ 有機農産物を活用したメニュー開発、情報発信



消費者部会による試作

群馬 GUNMA KANRA  
オーガニック  
甘楽町 Organic food レシピ

鶏肉の油でさっぱり仕上げ  
鶏肉とさつまいものおろし煮



町民食堂

材料（2人分）  
鶏もも肉 100g  
皮付き大根おろし 100g  
さつまいも 200g  
A（混ぜておく）――  
酒 20g  
みりん 10g  
醤油 8g  
小口切り万能ねぎ（好みで）

1 皮付きさつまいもを長さ2cm程度の乱切りに、さっと水を通し、耐熱容器に入れ軽くラップをし600wのレンジで3分30秒～4分加熱する。  
2 鶏肉は食べやすい大きさにカットし、加熱前のフライパンに皮面を下に置き、油をして中火で加熱し、鶏肉の油を出し焼き目が付いたら裏返す。  
3 ②にさつまいもを入れ蓋をして蒸し焼きし、途中でAを加え、水分を飛ばしながら火が通したら、大根おろしを加えて盛り、仕上げに万能ねぎをかける。  
甘楽定番みそで和える

オーガニックビレッジ甘楽町

甘楽町では1986年 甘楽町有機農業研究会を設立以降、有機農業を営農する農家が集まり、「身土不二」の精神で、消費者に農業や化学肥料を使用しない野菜を長年届けています。2023年10月 オーガニックビレッジを宣言し、さらに日々の暮らしに溶け込む有機農業をすすめています。甘楽の道の駅メニュー開発など、地域の食の魅力を発信する料理家 minokamo 長尾明子と甘楽町消費者部会で、食で笑顔になり、地域が元気になることを願いオーガニック野菜料理をご提案します



完成したレシピ



## 農村公園の整備

- ・ 遊休農地を新たに公園として活用
- ・ オリーブの有機栽培、搾油、加工等を予定





ご清聴ありがとうございました